

令和3年度第2回 国土交通省大阪航空局 総合評価等に関する委員会
審議概要

開催日及び場所	令和3年7月12日（月）大阪航空局会議室
委員	委員長 古阪 秀三（立命館大学客員教授） 委員 鎌田 敏郎（大阪大学大学院工学研究科教授） 委員 倉本 宜史（京都産業大学経済学部准教授）
内容	<p>審議事項</p> <p>① -1 福岡空港事務所新庁舎・管制塔新築設計技術協力業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案の個別評価項目の審査及び評価結果の妥当性 ・優先交渉権者選定、交渉権者選定（及び非選定）とする理由等の妥当性 <p>① -2 福岡空港事務所新庁舎・管制塔新築工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交渉手続きの妥当性 ・価格等の交渉手順の妥当性 <p>② 中部国際空港管制塔長周期地震動対策基本調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案のテーマ設定及び評価基準等の妥当性
委員からの 意見・質問	意見・質問
	別紙【議事要旨】のとおり
委員会による具 申内容	審議内容を了承

【議事要旨】委員からの主な意見・質問

審議事項①-1：福岡空港事務所新庁舎・管制塔新築設計技術協力業務

(質問) これから順次、優先交渉権者、次順位以降の交渉権者へ通知を行っていくという
ことですが、通知時に点数を加えて送付されるのかを教えてください。

(回答) 通知の段階では2位から7位の社につきましては、点数は通知しませんが、その
順位を通知します。

(質問) 点数だけ、総合点だけ、順位だけとなると、果たしてどの社がどの評価を受けた
のかのフィードバックになっていないと思いますので、各社にこの内容のここが低
かった、この内容のここが高かったなどを伝える機会もないのでしょうか。

評価で投げっぱなしというのも良くないと思いますので、今後同じような手続き
をされる際に、次の機会に各社が改善できる状況ではないと思います。

(回答) A社からG社の7社に、技術評価点の点数を合わせたものを私どものHPに最終的
に掲載します。

審議事項①-2：福岡空港事務所新庁舎・管制塔新築工事

・特になし

審議事項②：中部国際空港管制塔長周期地震動対策基本調査

(質問) 評価に対する技術提案の評価ウェイト、0～15点だったものが、0～30点に
変更になったという理由を教えてください。

(回答) 当初の基準は3テーマ設けることになっており、3テーマの配点をそれぞれ0～
15点としています。

今回につきましては、テーマを2テーマに絞り、最初のテーマに重みを置いて30
点と15点の2つの配点にしています。

【共通事項】

(依頼) 事後評価を必ず実施すること。

(回答) 分かりました。

以 上